

「常に世界初を目指した製品づくり」

株式会社ユタニ

Q 創業からのあらましについて

お聞かせください

大正7年3月に祖父が大阪市東成区に油谷鉄工所を創設し、エアツール（空気動工具）の製造販売を始めました。その後、需要の増加等により昭和18年10月法人組織の油谷鉄工株式会社に移行しました。昭和27年には、日本で初めてインパクトレンチに関する特許を取得しました。以来、エアツールに関する数多くの特許を所有してまいりました。昭和54年、世界で初めて電子技術を採用したメカトロ商品ETCレンチの開発に成功しまし



代表取締役社長 油谷敏美氏

た。昭和59年現在地へ本社・工場を新築移転しています。そして、昭和62年、私が38歳のとき会社を受け継ぎました。その後平成4年にC-1（コーポレート・アイデンティティ）導入により新社名を株式会社ユタニとしました。

Q どういった製品を製造されているのですか

インパクトドライバ、インパクトレンチ、グラインダ、ドリル、ハンマといった空気動工具（エアツール）、エアモーター、エアウィンチ、ナットランナや組立機械を製造しています。

当社の製品は、全てプロ用のものです。毎日少なくとも8時間は使用されますので、壊れないものを作る努力をしています。長持ちで、パワーが強いことが特徴です。

Q エアツールとは

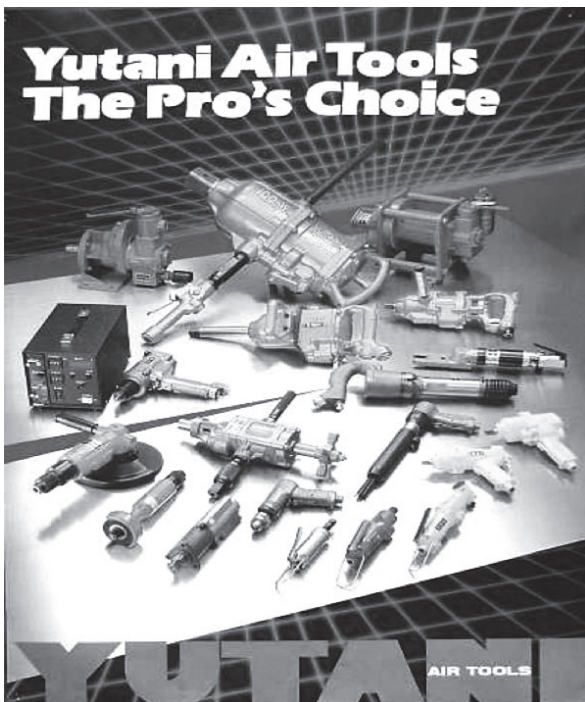
電気を動力としてコンプレッサーで圧縮空気を作り、圧縮した空気が外気に戻ろうとする力を利用してモーターで回転させています。ネジを締めるインパクト

とをやっているという考えです。

名刺に我社のコーポレートスローガン「技術から対話へ」を入れていますが、お客様の話を聞いて、我々ができることを提案しています。

最近も、我々のエアモーターを使って作った設備を納入しました。

組み立て技術のノウハウを持つていますので、活かせる方法を模索しています。航空機産業の現場を見せられた時、何万本というボルトを全て手で締めておられました。締めた後はトルクレンチで測って確認をして、上から樹脂を塗って固定したり、合計すると一本30分以上かかっていました。作業もマンホールみたいところに首を突っ込んでやっておられていました。なんとかできないかと考えて、エアツールとデータの管理をスピードアップさせようということでした。試作に近いものを作りました。一本十分の一以下の時間でできるようになり、データも全部残せ、軽くしました。6月にはお客様の元へ届けられるように進めています。



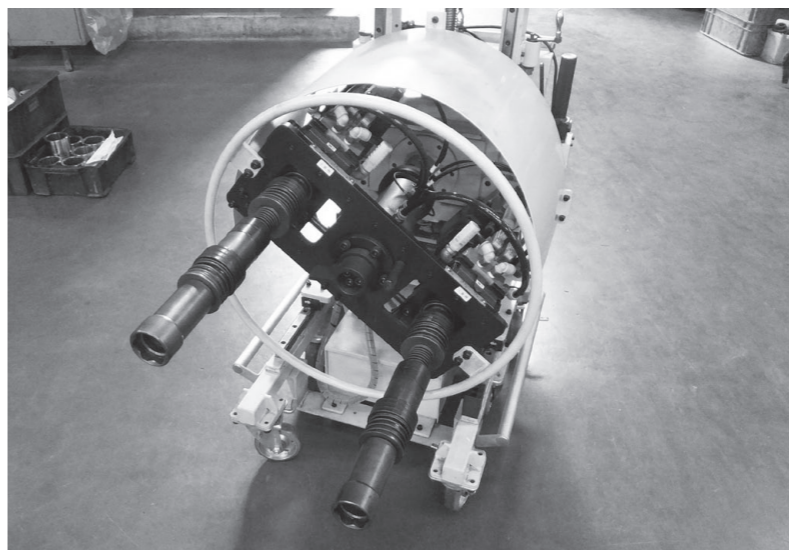
製品ポスター

の管理をスピードアップさせようという試作に近いものを作りました。一本十分の一以下の時間でできるようになり、データも全部残せ、軽くしました。6月にはお客様の元へ届けられるように進めています。

レンチや物を削るグラインダーのように基本的には回転力にします。回転の早さでネジを締め付ける速さも変わります。物を引き上げるウィンチもモーターが回転する力を利用しています。ただ、ハンマーだけは往復運動を使って物を叩きます。

Q 御社の製品が「関西ものづくり新撰2015」に選定されたとお聞きしたのですが

当社が5年をかけて開発した「2軸ホイールナット締付システム」TMW-600-M2が、今年1月に近畿経済産業局の「関西ものづくり新撰2015」に選ばれました。大型トラックやバスの車輪脱落事故を防止する日本初の認定システムです。脱輪はナットの締め過ぎが原因でボルトが切れて外れるという場合が多い訳ですが、今までは通達により作業方法を変えたりと対策を取られましたがなかなか改善されませんでした。日本自動車機械工具協会型式認定の本システムは、大型車両の全種類に対応でき、締付トルク、締付本数の管理・記録・追跡が可能で、



日本初の型式認定2軸ホイールナット締付システム「TMW-600-M2」

最後の締付トルクの確認作業（トルクレンチ）が要らないことが日本で初めて認められた製品です。

Q 「2軸ホイールナット締付システム」はどういったところで使用できるのですか

トラックやバスを作っている会社のディーラーの整備工場に使っていただくと考えています。またバス会社や大型車の車検でも使えると思います。

タイヤも6、8、10本とナットの数はそれぞれ違います。右締めのもとと左締

Q 海外展開について

我社の海外比率は25%ぐらいです。中でも韓国が一番多く、主として自動車会社の組立ラインで長年使っていたいただいており、その品質に大変満足していただいております。

現在、我社の海外での営業支店はソウルのみですが、今後は海外生産をも含めて海外展開を考えています。

Q 社員への教育

製造部門であれば、ポリテクセンターや企業研修に行かすなどしています。会議所のセミナーも利用しています。

生産知識を持っている人を採用するのは難しいので、社員は育てていく方が多いです。

定年を過ぎてでも働いてもらっている方もおられますが、我々の世代の技術やノウハウを若い世代に受け継いでいくことが一番大事なことだと考えています。

Q 会議所への要望

概ね満足しています。大阪商工会議所にも所属していますので、奈良商工会議所ならではのサービスがあればいいかなと思います。

【取材協力】 帝塚山大学 吉田承実

事業所概要

- 事業所 / 株式会社ユタニ
- 代表者名 / 取締役社長 油谷敏美
- 所在地 / 奈良市西九条町 5-4-8
- 従業員数 / 63名
- 事業内容 / 機械器具製造業